

神戸市北野異人館地区における土砂災害に関する防災意識アンケート調査

神戸市立工業高等専門学校 専攻科 ○山根綾美
神戸市立工業高等専門学校 鳥居宣之

1. はじめに

現在、日本各地でハード対策に加えてソフト対策を充実させる取り組みが行われている。これらのソフト対策は、当然のことながら保全の対象者（一般的には対象地区の居住者）に認知・活用されてはじめてその効果を発揮する。しかしながら、地域内に土砂災害の危険箇所を有する観光地では、その地域の状況や災害特性に関する知識を持ち合わせていない非居住者である観光客が一時的に多数存在していることになる。したがって、ひとたび豪雨に見舞われ土砂災害が起きた際は居住者だけではなく観光客など非居住者が混在しているため、被害が拡大することが考えられる。過去に阪神大水害などにより、神戸の市街地は幾度も土砂災害に見舞われてきた⁽¹⁾。本研究では、神戸市の観光地の一つである北野異人館地区に着目し、当該地域で発生すると考えられる土砂災害に関する被害軽減方策を検討することを目的としている。本報では、神戸市北野異人館地区にて観光地としてどれだけ土砂災害に対する防災意識を持っているのかを調査するため、防災意識アンケート調査を実施した。

2. 防災意識アンケートの実施

2.1. 防災意識アンケートの概要

「神戸市北野異人館地区」内には、土砂災害警戒区域が指定されている。そこで、観光地としての土砂災害に対する防災意識をどの程度持っているのかを調査するため、防災意識アンケート調査の実施を行った。対象者は北野地区の伝統建造物群保存地区の異人館と近隣の商業施設などで働いている方を対象とした。アンケートの内容としては、a)回答者の基本属性、b)土砂災害に関する基礎調査、c)施設に関する防災対策の調査、d)観光客に対する防災対策の取り組み、e)北野地区の今後の防災対策に関する取り組み調査である。

2.2. アンケートの目的

土砂災害のソフト対策に着目し、観光地における豪雨に起因する土砂災害に対する防災意識をどれほど持っているか把握することを目的としている。

2.3. アンケートの回収状況

表-1 にアンケートの回収状況を示す。表-1 より、アンケートの配布施設数と回答数から求めた回答率が54%となったことから、アンケート回答の信頼度は比較的高く得られたと思われる。

表-1 アンケート回答状況

対象施設数	配布施設数 a	回答数 b	回答率 b/a (%)
約 50	35	19	54

2.4. 防災意識アンケートの結果整理・分析

1)回答者の基本属性

回答者の基本属性は、性別・世代・職業・住まい・施設の構造物の種類である。

2)土砂災害に関する基礎調査

土砂災害の関する基礎調査では回答者がどの程度北野地区の土砂災害に関する認識を持っているかを調べるため11項目の質問を行った。回答結果の主なものを図1~6に示す。なお、図中には各アンケート項目の有効回答数をnで表している。

「土砂災害の被害にあったことがありますか？」の回答を図-1に示す。図-1より、過去に土砂災害の被害経験のある人は約20%であった。「防災について興味・関心は日頃からお持ちですか？」の回答結果を図-2に示す。図-2より、防災に興味・関心のある人は95%であり、災害に対する意識レベルが高いことが認識できた。同質問における土砂災害の被害経験がある人の結果を図-3に示す。また、被害経験がない人の結果を図-4に示す。図-3,4より、北野異人館地区としては非常に防災に関して意識の高い地区で

あることが認識できたが、実際に被害を経験している人と、していない人では関心度にズレが生じていることがわかった。

3) 施設に対する防災対策に関する質問

観光地としてどのような取り組みがされているか6項目の質問を行った。「施設で防災対策は取り組まれていますか？」の回答結果を図-5に示す。図-5より、防災対策を「取り組んでいる」施設は約半数いた。また、取り組んでいる側の意見としては、近年の「集中豪雨」について気にしていることがよくわかった。さらに災害情報の入手も積極的に行っているとの回答が得られた。また、「テレビのニュースを日常生活から気にして確認している」、「地域自治体との連携をおこなっている」等の回答があった。

4) 観光客に対する防災の取り組み

「観光客などの方のために何か特別に防災対策として取り組んでいますか？」という質問を行った。回答結果を図-6に表す。図-6より、施設での防災対策は取り組んでいても、観光地としての観光客目線での防災の取り組みを行うということは難しいことが現状であると認識できた。また、施設が山裾にあり、「対策を行うにも行うことができない」といった声もあがってきた。

5) 北野地区の今後の防災対策について

「近年の土砂災害についてなにか思うことはありますか？」と記述式のアンケートを行った。そこでは「広島土砂災害の土砂災害は他人事とは思えない、自分たちにもいつでも準備覚悟が必要だと思う」という意見があった。

3. 考察

土砂災害に関する防災意識アンケートを実施したことより、北野異人館地区の方々は非常に土砂災害に関して危機感を持っており、さらに防災の取り組みも自ら進んで行う人が多いこともわかった。しかしながら、過去に災害を経験している人と、していない人とは意識が少し異なっていることが確認できた。また、広島土砂災害が発生してから危機感の意識は高まっている状況であることがわかった。また、防災意識が高く、知識が豊富な人が多いことが

わかった。この状況を保持すべきであるため、商業施設だけではなく近隣住民の方の意見も取り入れていくべきと思われる。

今回は、観光客の滞在している時間が限られている商業施設や観光施設を対象とした調査であったが、今後としては、滞在している時間が限られていない宿泊施設にも同様調査を実施すべきと思われる。

参考文献

- (1) 神戸市教育委員会：神戸市北野町山本通伝統的建造物群保存地区防災計画、
<http://www.city.kobe.lg.jp/child/education/kyouikuinakaikaigi/img/250423houkoku7.pdf>
(2015.1.28 閲覧)

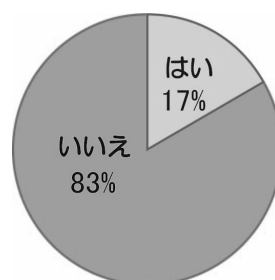


図-1 土砂災害の被害経験 (n=18)

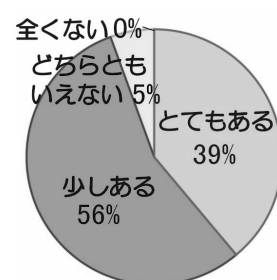


図-2 防災に関する興味・関心度 (n=18)

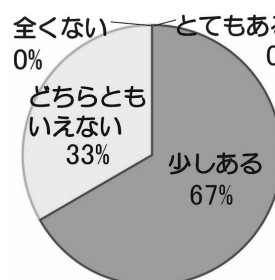


図-3 防災に関する興味・関心度 (被害経験有) (n=3)

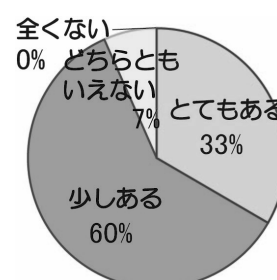


図-4 防災に関する興味・関心度 (被害経験無) (n=15)

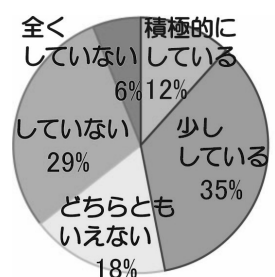


図-5 防災対策の取り組み (n=15)

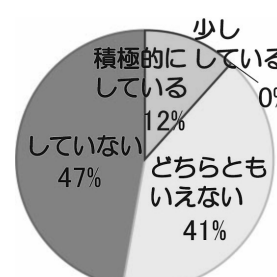


図-6 防災対策の取り組み (観光客) (n=17)